

## 造血器腫瘍における新しい染色体異常クロモスリプシスの検出法の確立と臨床的意義の解明

### 1. 研究の対象

血液内科で治療を行なった患者さん（2007年6月～）の保存試料を用いた遺伝子解析研究、がん研究の協力への同意のある方、およびお手紙で説明文書をお送りした方でお返事がなかった方、連絡先のわからない方。

### 2. 研究目的・方法

研究の概要：

クロモスリプシスは、これまでがんが、遺伝子変異の蓄積と考えられてきた発がんのメカニズムと全く異なった新しい発がん機序です。造血器腫瘍においては、まだ一部の報告しかありません。悪性度の高い難治性の腫瘍の新しいバイオマーカーになり、治療強度を考える上で重要な情報となる可能性を持っています。

顕微鏡所見、染色体検査、ゲノムアレイ解析、シーケンス解析を行ない、予後との関係を分析します。診断時に予後を予測し、早期に適切な治療が行なえる指標を探索します。将来の医学の発展に貢献します。

研究期間：2016年6月9日より2027年3月31日まで

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：診断名、治療、予後

試料：診断時および経過中に行った血液検査、骨髄検査の余剰検体。

### 4. 外部への試料・情報の提供

本研究の一部の解析は、広島大学原爆医療研究所、群馬県立小児医療センターで行なう。臨床データの提供は、個人が特定できないよう仮名加工し、個人識別表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

得られた研究成果は、研究用データベースへの登録等や学会・論文等として公表しません。

### 5. 研究組織

研究代表者：

埼玉県立がんセンター血液内科

川村眞智子

広島大学原爆放射線医科学研究所 医療研究所放射線障害機構研究部門 田代聡  
医薬基盤・健康・栄養研究所：笠井文生  
国立がん研究センター研究所：吉田健一

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内  
で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人  
の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出く  
ださい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：

〒362-0806

埼玉県北足立郡伊奈町小室 780

埼玉県立がんセンター血液内科 川村眞智子